

公開シンポジウム「大径材がかがやきを放つために」のお知らせ

我が国の人工林は高齢級化が進み大径材の供給が増加しています。しかし、大径材は強度等の品質のばらつきが大きいことや安定供給への懸念などから敬遠され、価格が低迷しています。そこで、森林総合研究所を中心とした研究コンソーシアム「大径材強度予測共同研究機関」では、大径材から国産材シェアの低い梁・桁材や枠組壁工法用部材を効率よく生産し、一般住宅や中大型建築物の部材として安定供給することにより、大径材の競争力を強化するためのプロジェクト「要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から建築部材の強度を予測する技術の開発」を2016年度より実施しています。

今回、本プロジェクトによる成果を広く皆様に知っていただくため、公開シンポジウムを開催することになりました。大径材がかがやきを放つため、多くの皆さんと情報を共有し、大径材の利用拡大に貢献できればと願っています。木材に関する研究を行っている方や木材産業に携わる方はもちろんのこと、一般の方々にも参加して頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

共催：大径材強度予測共同研究機関、（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所、石川県、
（国研）農研機構生研支援センター

後援：（公社）日本木材加工技術協会、（公社）日本木材保存協会、
（一社）日本ツーバイフォー建築協会北陸支部

日時：2019年2月14日（木）13:15～16:45

会場：石川県地場産業振興センター新館第10研修室（石川県金沢市鞍月2丁目20番地）

会費：無料（事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。）

定員：100名

次第：

13:15～13:25 開会挨拶

13:25～14:25 基調講演

大径材から得られる製材の活用に関する取組と今後の展開

（株）シモアラ 谷口恒英 氏

国産ツーバイフォー材の活用に関する現状と課題

（株）北陸リビング社 北出秀樹 氏

14:25～14:40 休憩

14:40～16:10 成果報告

①プロジェクトの概要説明

研究代表 森林総合研究所四国支所 小林功

②丸太品質評価技術および製材・乾燥技術の開発

森林総合研究所木材加工・特性研究領域 藤本清彦

③強度特性の評価

森林総合研究所構造利用研究領域 加藤英雄

16:10～16:35 質疑応答

16:35～16:45 閉会挨拶

問い合わせ先：

大径材強度予測共同研究機関事務局（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所内）

藤本清彦、外崎真理雄

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

E-mail: taikeizai-event@ml.affrc.go.jp, Tel: 029-829-8305, Fax: 029-874-3720

本研究は農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業（うち先導プロジェクト）」の支援を受けて行っています。